

- の局在. 第3回 ATBF 1 研究会, 金沢, 2010. 6. 12.
- 2) 大島勇人: エナメル質と象牙質の石灰化と球状石灰化形成メカニズムについて, 第13回 エナメル質比較発生学懇話会, 山中湖, 2010年7月10-11日.
 - 3) 中富満城: 歯の発生における Evc 遺伝子の機能, 第13回 エナメル質比較発生学懇話会, 山中湖, 2010年7月10-11日.
 - 4) 葛城美德, 安樂純子, 西川 敦, 中富満城, 依田浩子, 大島勇人, 権藤洋一, 木南 凌: Bcl11b/Rit 1 は切歯エナメル芽細胞の分化を制御する. 第24回モロシヌス研究会, 阿蘇, 2010年9月17-18日.
 - 5) Ohshima H, Kenmotsu S: Clarification of the relationship between maxillary sinus and the superior alveolar nerves and vessels. 平成20年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業連絡会議, 東京, 2011年2月25-26日.
 - 6) Ida-Yonemochi H: Biological effects of enzymatically synthesized glycogen on osteogenesis and odontogenesis. 平成20年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業連絡会議, 東京, 2011年2月25-26日.
 - 7) Nakatomi M: A gene regulatory network specific to the developing lower incisor of mice. 平成20年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業連絡会議, 東京, 2011年2月25-26日.

【その他】

- 1) Ohshima H : Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
- 2) Ohshima H : Editorial Board, Japanese Dental Science Review
- 3) Ohshima H: Advisory Editor, Dental Materials Journal
- 4) 大島勇人: 象牙質・歯髄複合体の発生・構造・加齢変化. 東京医科歯科大学歯学部特別講義, 東京, 2010年7月6日.
- 5) 大島勇人: 歯髄免疫と象牙質再生, 歯胚再生コンソーシアム&岩手医科大学歯学部オープンリサーチ主催「若手研究セミナー」, 安比高原, 2010年8月9-10日.
- 6) 中富満城: 平成22年度 SCRP 日本代表選抜大会新潟大学ファカルティアドバイザー, 東京, 2010年8月20日.
- 7) 大島勇人, 鄭 翰聖: (座長) 第52回歯科基礎医学会学術大会・総会メインシンポジウム2「歯科再生医療に歯の発生生物学はどのように貢献してきたか、そして今後どのように貢献できるか」(歯胚再生コンソーシアム後援):

1. 大島勇人, 小澤幸重: オーバービュー: 歯科再生医療に歯の発生生物学はどのように貢献してきたか、そして今後どのように貢献できるか, 2. 小澤幸重, 馬場麻人, 太田正人: 歯の比較解剖学と再生医学との接点, 3. 鄭 翰聖: 歯の空間的パターン形成を制御する Wnt/Shh/Sostdc 1 ネガティブ・フィードバック・ループ, 4. 原田英光: 歯の再生医学に貢献する幹細胞の研究と展開, 5. 齋藤正寛, 辻 孝: 歯の発生プログラムからアプローチした歯科再生治療システムの開発, 6. 福本 敏, 中村卓史, 山田亜矢, 新垣真紀子, 岩本 勉: 歯原性上皮の分化の分子制御メカニズム, 東京, 2010年9月20-22日, J Oral Biosci 52 (Suppl) : 68-71, 2010.
- 8) 大島勇人: 電子顕微鏡で解き明かす歯髄免疫と歯の損傷後の歯髄反応. 日本大学松戸歯学部電顕講習会, 松戸, 2010年10月22日
- 9) 大島勇人: 第10回産学連携フォーラム(歯科再生医療産学連携会議主催), 東京, 2010年11月30日.
- 10) 大島勇人: 歯の損傷後の歯髄修復メカニズムの新規仮説と歯髄の分化能. 東京医科歯科大学大学院特別講義, 東京, 2011年1月13日.
- 11) 依田浩子: マウス歯胚発育過程におけるグルコース代謝. 岡山大学大学院特別講義, 岡山, 2011年1月25日.
- 12) 大島勇人: 第11回産学連携フォーラム(歯科再生医療産学連携会議主催), 東京, 2011年2月28日.

口腔解剖学分野

【著書】

- 1) Smith MH, Izumi K, Feinberg SE: Tissue engineering. Operative Oral and Maxillofacial Surgery 2nd Ed (Eds by John Langdon, Mohan Patel, Robert Ord, Peter Brennan), Hodder Arnold Health Sciences, London, Chapter 12.3, pp. 137-146. 2010.
- 2) 前田健康: I編2章 1. 口腔とは. 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 10-18頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
- 3) 前田健康: I編2章 2. 口腔を構成する骨. 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 18-34頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
- 4) 前田健康: I編2章 3. 頭頸部の筋と作用. 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(前田健康, 遠藤

- 圭子, 畠中能子編), 34-42 頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
- 5) 井上佳世子: I 編 2 章 4. 顎関節. 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 42-45 頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
 - 6) 前田健康: I 編 2 章 5. 口腔付近に分布する脈管系. 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 45-56 頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
 - 7) 前田健康: I 編 2 章 6. 神経. 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 56-67 頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
 - 8) 脇坂 聡, 前田健康: II 編 3 章 歯および歯周組織の構造と機能. 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 218-251 頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
 - 9) 前田健康: III 編 3. 口腔の組織を理解する実習: 光学顕微鏡による組織標本の観察. 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 260-263 頁, 医歯薬出版, 東京, 2011.
 - 10) 前田健康, 山田好秋: 序章 解剖学で学ぶこと・生理学で学ぶこと. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 1-12 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 11) 井上佳世子: I 編 1 章 細胞と組織. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 14-31 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 12) 井上佳世子: II 編 3 章 2. 消化器の構造. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 87-98 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 13) 前田健康: II 編 5 章 1. 神経系の概要. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 144 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 14) 前田健康: II 編 5 章 2. 神経系の構成. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 145-149 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 15) 前田健康: II 編 5 章 6. 末梢神経系. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 159-165 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 16) 泉 健次: II 編 7 章 3. 外皮. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 191-198 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 17) 河野芳朗: II 編 7 章 4. 特殊感覚器の構造と機能. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 198-205 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 18) 前田健康: II 編 10 章 内分泌. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (前田健康, 山田小枝子編), 227-233 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.
 - 19) 渡邊 誠, 米田俊之, 高戸 毅, 戸塚靖則, 朝田芳信, 恵比寿繁之, 古谷野潔, 須田英明, 前田健康, 矢本照子: 歯学分野の展望. 日本の展望 - 学術からの提言 2010 (日本学術会議 歯学委員会), 日本学術会議, 東京, 2010.
- 【翻訳】**
- 1) 前田健康: 口腔の構造と機能. (口腔科学会編), 口腔科学, 朝倉書店, 東京, 2011 印刷中.
 - 2) 前田健康: 歯の構造と機能. (口腔科学会編), 口腔科学, 朝倉書店, 東京, 2011 印刷中.
 - 3) 井上佳世子: 9 章 顎関節. ネットー歯学のための顎顔面口腔解剖 (前田健康監訳), 医歯薬出版, 東京, 2011 印刷中.
 - 4) 前田健康: 10 章 翼口蓋窩. ネットー歯学のための顎顔面口腔解剖 (前田健康監訳), 医歯薬出版, 東京, 2011 印刷中.
 - 5) 前田健康: 18 章 耳. ネットー歯学のための顎顔面口腔解剖 (前田健康監訳), 医歯薬出版, 東京, 2011 印刷中.
 - 6) 前田健康: 補遺. ネットー歯学のための顎顔面口腔解剖 (前田健康監訳), 医歯薬出版, 東京, 2011 印刷中.
 - 7) 前田健康: 第 7 章 軟骨. (坂井建雄, 川上速人監訳), ジュンケイラ組織学 第 3 版, 123-129 頁, 丸善, 東京, 2011.
 - 8) 前田健康: 第 8 章 骨. (坂井建雄, 川上速人監訳), ジュンケイラ組織学 第 3 版, 130-149 頁, 丸善, 東京, 2011.
- 【論文】**
- 1) Komagata S, Chen S, Suzuki A, Yamashita H, Hishida R, Maeda T, Shibata M, Shibuki K: Initial phase of neuropathic pain within a few hours after

nerve injury in mice, *J. Neurosci.*, 2011 in press.

- 2) Haga M, Nozawa-Inoue K, Li M, Oda K, Yoshie S, Amizuka N, Maeda T: A morphological analysis on the osteocytic lacunar canalicular system in bone surrounding dental implants. *Anat. Rec. (Hoboken)*, 2011 in press.
- 3) Lo WL, Lai JY, Feinberg SE, Izumi K, Kao SY, Chang CS, Lin A, Chiang HK: Raman spectroscopy monitoring of the cellular activities of a tissue-engineered ex vivo produced oral mucosal equivalent. *J. Raman Spectrosc.*, 42 (2) :174-178, 2011.
- 4) Rahman F, Harada F, Saito I, Suzuki A, Kawano Y, Izumi K, Nozawa-Inoue K, Maeda T: Detection of acid-sensing ion channel 3 (ASIC 3) in periodontal Ruffini endings of mouse incisors. *Neurosci. Lett.*, 488 (2) : 173-177, 2011.
- 5) Tobita T, Izumi K, Feinberg SE: Development of an in vitro model for radiation-induced effects on oral keratinocytes. *Int. J. Oral Maxillofac. Surg.*, 39 (4) : 364-370, 2010.
- 6) Li M, Seki Y, Freitas PH, Nagata M, Kojima T, Sultana S, Ubaidus S, Maeda T, Shimomura J, Henderson JE, Tamura M, Oda K, Liu Z, Guo Y, Suzuki R, Yamamoto T, Takagi R, Amizuka N: FGFR 3 down-regulates PTH/PTHrP receptor gene expression by mediating JAK/STAT signaling in chondrocytic cell line. *J. Electron Microsc.*, 59 (3) : 227-236, 2010.
- 7) 安島久雄, 魚島勝美, 小野和宏, 藤井規孝, 井上 誠, 山村健介, 齋藤 功, 興地隆史, 高木律男, 前田健康: 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性. *日本歯科医学教育学会雑誌*, 26 (3) : 349-353, 2010.
- 8) 飯田明彦, 芳澤享子, 小山貴寛, 齋藤太郎, 高木律男, 齊藤 力, 齋藤 功, 小野和宏, 泉 健次: 培養複合口腔粘膜移植を応用した口唇口蓋裂の2例. *日本口蓋裂学会雑誌*, 35 (3) : 235-240, 2010.
- 9) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 藤井規孝, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康: 新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価 学習成果に関する卒業生の自己評価と教員評価の一致度による検討. *日本歯科医学教育学会雑誌*, 26 (1) : 49-57, 2010.

【商業誌】

- 1) 魚島勝美, 前田健康: 新潟大学歯学部の国際交流. *日本歯科評論* 70 (12) : 186-188, 2010.

【研究費獲得】

- 1) 前田健康 (研究代表者): 歯根膜機械受容器のカベオラの存在意義の解明. 平成 22 年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) 「一般」, 20390464, 2010.
- 2) 前田健康 (研究代表者): 口腔粘膜上皮前駆/幹細胞の分離・同定. 平成 22 年度 文部科学省科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 21659455, 2010.
- 3) 泉 健次 (研究代表者): オートファジーの薬学的操作による口腔粘膜前駆/幹細胞の抗老化・維持システムの確立. 平成 22 年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) 「一般」, 20390464, 2010.
- 4) 井上佳世子 (研究代表者): 顎関節滑膜における線維芽細胞様 B 型細胞の分類確立～筋特異的分子に着目して～. 平成 22 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 21791783, 2010.
- 5) 河野芳朗 (研究代表者): 新たに同定したセメント芽細胞特異マーカーを用いたセメント質形成過程. 平成 22 年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21592322, 2010.
- 6) 鈴木晶子 (研究代表者): 顎関節滑膜細胞と破骨細胞における活性化の細胞学的類似性. 平成 22 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 22791761, 2010.
- 7) 寺田典子 (研究代表者): ビスフォスフォネートによる顎骨壊死のメカニズム解明のための細胞培養モデルの開発. 平成 22 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 22791963, 2010.
- 8) 寺田典子 (研究代表者): ビスフォスフォネート製剤影響下における 3 次元培養粘膜モデルを用いた口腔粘膜上皮欠損部再生能の分析. 平成 22 年度 新潟大学プロジェクト推進経費 発芽研究, 2010.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Maeda T: Education system and its evaluation at the Niigata University Faculty of Dentistry. International Joint Symposium on Oral Science, Bali, Indonesia, 2010. 12. 18.
- 2) Maeda T: Dental pulp innervation. Peradeniya University Faculty of Dentistry, Kandy, 2010. 12. 6.
- 3) Feinberg SE, Peramo A, Izumi K, Marcelo CL: Role of oral mucosa in soft tissue engineering in craniomaxillofacial surgery. Tissue Engineering Regenerative Medicine International Society 2010 Asia-Pacific Meeting, Sydney, Australia, 2010. 9. 15-17.
- 4) 前田健康: 調査協力者会議第 1 次報告書から見た歯

学部改革の方向性．岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 FD, 岡山大学, 岡山, 2011.3.9.

- 5) Maeda T: Preface. QOL International Symposium. Niigata, Japan, 2011. 2.9.
- 6) 前田健康: プロジェクト所属による大学院教育の実質化. 文部科学省大学院教育改革支援プログラム(医療系) シンポジウム. 東京医科歯科大学, 東京, 2011. 1. 26.

【学会発表】

- 1) Maeda T, Harada F, Rahman F: Mechanoreceptive Ruffini endings innervating by ASIC 3 -positive trigeminal ganglion neurons. 89th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research, San Diego, CA, 2011. 3. 16-19, Program book: 109, 2011.
- 2) Uoshima K, Nagasawa M, Ono K, Maeda T: Development of a novel and comprehensive pre-clinical practice course. 89th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research, San Diego, CA, 2011. 3. 16-19, Program book: 101, 2011.
- 3) Nagasawa M, Uoshima K, Terada M: Histological investigation on the bone surrounding dental implant upon occlusal load using a novel rat model. International Joint Symposium on Oral Science, Bali, Indonesia, 2010. 12. 17-18, Program Book: 62, 2010.
- 4) Terada M, Izumi K, Ohnuki H, Saito T, Kato H, Suzuki A, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Takagi R, Maeda T: Effects on zoledronic acid on primary human oral mucosa keratinocytes and fibroblasts. International Joint Symposium on Oral Science, Bali, Indonesia, 2010. 12. 17-18, Program Book: 54, 2010.
- 5) Kato H, Izumi K, Terada M, Ohnuki H, Marcelo CL, Feinberg SE, Saito C, Maeda T: Characterization of a unique subpopulation of oral mucosa keratinocytes produced from a monolayer culture: the omPUK cultured cell strain. International Joint Symposium on Oral Science, Bali, Indonesia, 2010. 12. 17-18, Program Book: 51, 2010.
- 6) Ohishi M, Harada F, Maeda T: Multiple neurotrophins involve regeneration of the periodontal Ruffini endings after transection of rat inferior alveolar nerve. 40th Annual Meeting of the Society for Neuroscience, San Diego, CA, 2010. 11. 13-17. <http://sfn.org/am2010/>, 2010.
- 7) Haga M, Nozawa-Inoue K, Li M, Yoshie S, Amizuka N, Maeda T: Long-term response of the bone to the titanium implant in the rat maxilla. The 6 th Congress of the Asian Academy of Osseointegration, Seoul, Korea, 2010. 11. 12-14, AAO 2010 Program and Abstracts: 172-173, 2010.
- 8) Kojima T, Amizuka N, Suzuki A, Yoshizawa M, Oda K, Maeda T, Saito C: Histological examination on bone augmentation with β -tricalcium phosphate and a thermoplastic bioresorbable plate. 20th Congress of the European Association for Cranio-Maxillo-Facial Surgery, Bruges, Belgium, 2010. 9. 14-18, Program Book: 1296, 2010.
- 9) Haga M, Nozawa-Inoue K, Yoshie S, Maeda T: Property of injured bone around implants caused by cavity preparation. 88th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research, Barcelona, Spain, 2010. 7. 14-17, Program book: 157, 2010.
- 10) Rahman F, Harada F, Kawano Y, Ohishi M, Nozawa-Inoue K, Saito I, Maeda T: Acid-sensing ion channel 3 expression in the periodontal Ruffini endings. 88th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research, Barcelona, Spain, 2010. 7. 14-17, Program book: 132, 2010.
- 11) Nozawa-Inoue K, Suzuki A, Magara J, Kawano Y, Maeda T: Phenotypic desmin-positive type B synoviocytes in the rat temporomandibular joint. 88th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research, Barcelona, Spain, 2010. 7. 14-17, Program book: 110, 2010.
- 12) Magara J, Nozawa-Inoue K, Suzuki A, Kawano Y, Nomura S, Maeda T: Mechanical stress promotes desmin-expression in the rat temporomandibular joint disc. 88th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research, Barcelona, Spain, 2010. 7. 14-17, Program book: 110, 2010.
- 13) Ohnuki H, Izumi K, Kato H, Terada M, Suzuki A, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Takagi R, Maeda T: Effects on zoledronic acid on primary human oral mucosa keratinocytes. 88th General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research, Barcelona, Spain, 2010. 7. 14-17, Program book: 64, 2010.

- 14) Cole JH, Chandra M, Morris MD, Mycek M-A, Izumi K, Feinberg SE: Non-invasive assessment of tissue engineered human oral mucosa. Tissue Engineering Regenerative Medicine International Society 2010 EU meeting, Galway, Ireland, 2010, 6, 13-17.
- 15) Peramo A, Izumi K, Feinberg SE, Marcelo CL: Characterization of unique technique for culturing primary epithelia cells: the ePUK cultured cell strain. 22nd Annual Moses Gunn Research Conference, Ann Arbor, USA, 2010. 4. 29.
- 16) Nozawa-Inoue K, Suzuki A, Magara J, Kawano Y, Maeda T: Immunocytochemical characteristics of the desmin-positive type B synoviocytes in the rat temporomandibular joint. 88th Annual Meeting of The Physiological Society of Japan and the 116th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists, Yokohama, 2011. 3. 28-30, J. Physiol. Sci. 61 (Suppl. 1) : S253, 2011.
- 17) Haga M, Nozawa-Inoue K, Minqi Li, Yoshie S, Amizuka N, Maeda T: Histological alteration of osteocytes around dental implants. 88th Annual Meeting of The Physiological Society of Japan and the 116th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists, Yokohama, 2011. 3. 28-30, J. Physiol. Sci. 61 (Suppl. 1) : S231, 2011.
- 18) 寺田典子, 泉 健次, 加藤寛子, 大貫尚志, 齋藤太郎, 前田健康, 山本麻里絵, 生駒俊之, 田中順三: キトサンおよびウロコラーゲンを足場とした培養複合口腔粘膜の組織学的検討. 第10回日本再生医療学会総会, 東京, 2011. 3. 1-2, 日本再生医療学会雑誌, 10 (Suppl.) :170, 2011.
- 19) Kato H, Izumi K, Terada M, Ohnuki H, Marcelo CL, Feinberg SE, Saito C, Maeda T: Characterization of a unique subpopulation of oral mucosa keratinocytes produced from a monolayer culture: the omPUK cultured cell strain. 35th Japanese Society for Investigative Dermatology. 和歌山 2010. 12. 3-5, 抄録集 138, 2010.
- 20) 亀田英邦, 吉岡朋彦, 生駒俊之, 大貫尚志, 泉 健次, 田中順三: ビスフォスフォネート-リン酸カルシウムの複合化と材料特性. 第32回日本バイオマテリアル学会大会, 広島, 2010. 11. 29-30, 予稿集 : 309, 2010.
- 21) 都 仁, 鈴木晶子, 野澤-井上佳世子, 真柄 仁, 前田健康: 顎関節関節円板の発達におけるネスチンおよびGFAPの局在変化. 平成22年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2010. 11. 13, 新潟歯学会雑誌, 40 (2) : 83, 2010.
- 22) 石井治彦, 鳴海敬倫, 牛田晃臣, 泉 健次, 加藤寛子, 長谷川富市: 液体中の単独細胞の機械的変形に関する実験的研究. 日本機械学会 第88期流体工学部門講演会, 山形, 2010. 10. 30-31, 講演要旨集 : 469-470, 2010.
- 23) 石井治彦, 鳴海敬倫, 泉 健次, 加藤寛子: 培養した単独細胞の変形強度に関する実験的研究. 第58回レオロジー討論会, 仙台, 2010. 10. 4-6, 講演要旨集 : 30-31, 2010.
- 24) 三富智恵, 河野芳朗, 河野承子, 田口 洋, 早崎治明, 前田健康: アルキル化抗腫瘍薬によるラット歯根形成障害に関する組織形態学的解析. 第52回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2010. 9. 20-22, 歯科基礎医学会雑誌, 52 (Suppl.) : 151, 2010.
- 25) 河野承子, 河野芳朗, 三富智恵, 田口 洋, 早崎治明, 前田健康: 実験的咬合性外傷における歯周組織破壊・変化に伴うアクアポリン1発現の変化. 第52回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2010. 9. 20-22, 歯科基礎医学会雑誌, 52 (Suppl.) : 148, 2010.
- 26) 羽下麻衣子, 野澤-井上佳世子, 李 敏啓, 吉江紀夫, 網塚憲生, 前田健康: 歯科インプラント周囲における骨細胞・骨再管系の組織化学的变化. 第52回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2010. 9. 20-22, 歯科基礎医学会雑誌, 52 (Suppl.) : 128, 2010.
- 27) 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 田口裕哉, 興地隆史, 魚島勝美, 齊藤 力, 前田健康: 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における複合型プログラム研修歯科医の評価. 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 岩手, 2010. 7. 22-24, プログラム・抄録集 : P-162, 2010.
- 28) 塩生有希, 南 智香子, 君 雅水, 長澤麻沙子, 小野和宏, 魚島勝美, 前田健康: 新潟大学歯学部におけるPBL実施方法の評価—学生の立場から—. 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 岩手, 2010. 7. 22-24, プログラム・抄録集 : 102, 2010.
- 29) 小野和宏, 八木 稔, ステガロユ ロクサーナ, 大島勇人, 西山秀昌, 八巻正樹, 鈴木一郎, 朔 敬, 前田健康: 新潟大学歯学部における初年次教育の役割と課題. 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 岩手, 2010. 7. 22-24, プログラム・抄録集 : 97, 2010.
- 30) 田口裕哉, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 興地隆史, 前田健康: webカメラを用いた術者視点動画教材作製の試み. 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 岩手, 2010. 7. 22-24, プログラム・抄録集 : 77, 2010.
- 31) 長澤麻沙子, 高野遼平, Bhuiyan Md Al-Amin,

Mamunur Md Rashid, 前田健康, 魚島勝美: 荷重インプラント周囲骨の組織学的変化. 平成 22 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2010. 7. 10, 新潟歯学会雑誌, 40 (2) : 79, 2010.

- 32) 真柄 仁, 野澤-井上佳世子, 野村修一, 前田健康: 機械的ストレスを与えたラット顎関節関節円板におけるデスミンの発現. 第 119 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2010. 6. 11-13, プログラム・抄録集: 212, 2010.
- 33) 長澤麻沙子, 高野遼平, 吉田恵子, 川崎真依子, 前田健康, 魚島勝美: ラット咬合モデルを用いた咬合力に対するインプラント周囲骨変化の組織学的観察. 第 119 回日本補綴歯科学会学術大会, 東京, 2010. 6. 11-13, プログラム・抄録集: 106, 2010.
- 34) 河野承子, 河野芳朗, 三富智恵, 田口 洋: 実験的外傷歯の歯周組織における AQP 1 陽性細胞の動態. 第 48 回日本小児歯科学会大会, 名古屋, 2010. 5. 19-20, 小児歯誌, 48 (2) : 338, 2010.
- 35) 三富智恵, 河野芳朗, 河野承子, 田口 洋: 抗腫瘍薬がラット臼歯歯根形成におよぼす影響. 第 48 回日本小児歯科学会大会, 名古屋, 2010. 5. 19-20, 小児歯誌, 48 (2) : 246, 2010.
- 36) Rahman F, Harada F, Saito I Maeda T: Localization of acid sensing ion channel 3 in the periodontal Ruffini endings. 平成 22 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2010. 4. 17, 新潟歯学会雑誌, 40 (1) : 96, 2010.

【研究会発表】

- 1) 寺田典子, 泉 健次: C 3 とウロココラーゲンの培養粘膜作製用 scaffold としての可能性. 第 18 回魚コラーゲン研究会, 新潟, 2010 年 11 月 1 日.
- 2) 泉 健次, 寺田典子: 培養口腔粘膜に用いる Scaffold; Collagen-Chitosan-Complex (C3) を AlloDerm® に近づけるには? 第 16 回魚コラーゲン研究会, 東京, 2010 年 5 月 19 日.

【受賞】

- 1) Kato H, Izumi K, Terada M, Ohnuki H, Marcelo CL, Feinberg SE, Saito C, Maeda T: Characterization of a unique subpopulation of oral mucosa keratinocytes produced from a monolayer culture: the omPUK cultured cell strain. Third winner of poster competition, International Joint Symposium on Oral Science, Bali, Indonesia, 2010. 12. 17-18, Program Book: 51, 2010.

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Ishida Y, Komaru K, Oda K: Molecular characterization of tissue-nonspecific alkaline phosphatase with an Ala to Thr substitution at position 116 associated with dominantly inherited hypophosphatasia. *Biochim. Biophys. Acta* 1812 (3) 326-332, 2010
- 2) Sohda M, Misumi Y, Yamamoto A, Nakamura N, Ogata S, Sakisaka S, Hirose S, Ikehara Y and Oda K: Interaction of Golgin-84 with the COG complex mediates the intra-Golgi retrograde transport. *Traffic* 11 (12) , 1552-1566, 2010
- 3) Oku M, Tanakura S, Uemura A, Sohda M, Misumi Y, Taniguchi M, Wakabayashi S, Yoshida H: Novel cis-acting element GASE regulates transcriptional induction by the Golgi stress response. *Cell Struct. Funct.* 36 (1) , 1-12, 2011
- 4) Masuki H, Li M, Guo Y, Hasegawa T, Liu Z, Suzuki R, Oda K, Yamamoto T, Kawanami M and Amizuka N: Immunolocalization of DMP- 1 and sclerostin in the epiphyseal trabecule and diaphyseal cortical bone of osteoprotegerin deficient mice. *Biomedical Res.* 31 (5) , 307-318, 2010
- 5) Narimatsu K, Li M, Freitas PHL, Sultana S, Ubaidus S, Kojima T, Liu Z, Guo Y, Suzuki R Yamamoto T, Oda K, Amizuka N: Ultrastructural observation on cells with characteristics of histological criteria for preosteoblasts in mouse tibial metaphysis. *J Electron Microsc.* 59 (5) , 427-436, 2010.
- 6) Li M, Seki Y, Freitas HLP, Nagata M, Kojima T, Sultana S, Ubaidus S, Maeda T, Shimomura-Kuroki J, Henderson J, Tamura M, Liu Z, Guo Y, Yamamoto T, Oda K, Takagi R, Amizuka N: FGFR 3 down- regulates PTH/PTHrP receptor gene expression by mediating JAK/STAT signaling in chondrocytic cell line. *J Electron Microsc.* 59 (3), 227-236, 2010.
- 7) 李敏啓, 原久仁子, 秋山康博, 織田公光, 網塚憲生: 「アスコルビン酸合成能欠如ラットの骨基質石灰化における微細構造学的観察」解剖学雑誌, 第 85 巻, 第 2 号, 2010 年 6 月

【研究費獲得】

- 1) 織田公光: 低ホスファターゼ症の発症メカニズムの